

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		おはなのいえ木場えこる	公表日			
			令和 7 年 5 月 30 日			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・お勉強する部屋、遊ぶ部屋など決められている。 ・ここは何をする部屋と分けている。	・構造化を用いた環境の中で、自立した行動ができるように、児童の変化や成長に応じ構造化は繰り返し行うようにしています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	2	2		・決められた職員数が在籍しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	3	・活動により静かに過ごす部屋とそうでないお部屋で構造化を行いスタッフ側の意識向上を目指しています。	・バリアフリーに関しましては、対象の児童の利用がありません。
	4	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	・個々の特性に応じ、閉鎖的ではない場所に個別のスペースを作り落ち着く場所として提供していた。	・特性に応じ色々なスペースを個々の場所として用いることが可能な為今後も児童の合わせて環境設定を行う。
	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1		
業務改善	6	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	2		・面談等での保護者様の意向、または直接管理者や児発官に届いた声は、職員へ周知しています。
	7	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2		・常に情報を共有する課題は尽きない。時間を作ることができる業務のまわし方に職員全体が関与する必要があると感じます。改善課題はありますが一人一人が責任を持って業務に当たることができるよう管理者および児発官の指導の強化も必要かと感じています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		・おはなのいえでは第三者の評価は行っておりません。県や市の指導の下必要に応じて連携をとり、課題改善に取り組んでおります。
	9	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	3	・毎月研修が行われており、その中でグループワークや他の事業所との意見交換があつて良い。	・外部研修は、県や市の情報だけにとどまらず職員の質向上のため自らの活動を期待するようにしています。
	10	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		・すぐに見返せるよう、スタッフ全体が見られる場所にある。	
適切な支援の提供	11	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4			
	12	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	13	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	14	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			
	15	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	16	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			
	17	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	1		・職員への指導、知識向上のための機会が必要かと感じています。
	18	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	1		
	19	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			・個人のアセスメントに不十分さを感じることはある為、保護者面談などでは、日頃の様子などの聞き取りは十分に行うようにする。
	20	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2		・日々の業務に対しての時間の構造化を行うほか、一人ひとりが責任感を持って業務に当たる課題は尽きない。
	21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2	2	・誰もが情報周知ができるようメモを残したりするなど日々の支援終了後に、伝わる工夫をしています。	

	22	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1		
	23	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	3			
	24	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	1	3	・活動により学年に合わせた選択制のある活動の機会を持つことが増えています。	
	25	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
関係機関や保護者との連携	26	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		
	27	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	1		
	28	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1		
	29	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2		・主に児発管、管理者で行います。
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2		上記同様
	31	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	直接的な交流はなくとも地域のイベントの参加等を外出支援の計画に入れるようにしています。	毎年評価が「いいえ」になる項目です。全くしないわけではありませんが、当事業所に通う児童に対してのプライドの保護、自己肯定感の喪失回避のためもあり、積極的な関与はありません。
	32	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3		・主に児発管、管理者で参加しています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2	2		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			・トレーニングは行っていないが、関係機関に繋げる等相談の解決や打診を行うようにしています。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	2		・主に契約時に説明を行っております。
	36	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	37	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	38	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	1		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	1		
	40	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	1		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	2	・個人情報の取り扱いには注意している。 ・利用児の画像にも気をつけている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1		
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	3		

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3		・契約の時に説明と承諾を得ている。	